

第111期中間 事業のご報告

# 株主通信

2020年4月1日～2020年9月30日

株式会社 椿本チエイン

証券コード | 6371



つばきグループは、  
自らの成長と社会への貢献の  
両立を目指します。

株主の皆様には、平素より格別のご支援、ご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

また、この度の新型コロナウイルス感染症に罹患された皆様、および感染拡大により困難な生活環境にいらっしゃる皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

## 2020年度上半期の連結業績について

2020年度上半期(第2四半期連結累計期間)の連結業績は、売上高884億円、営業利益30億円(営業利益率3.4%)となりました。売上高については、新型コロナウイルス感染症の流行により世界規模で景気が減速したことなどから、前年同期比22.6%の減収となりました。

営業利益についても、減収に伴い売上総利益が減少したことなどにより、同63.0%の大幅な減益となりましたが、コストダウンや経費削減等に努め、7月31日に公表した予想数値(19億円)を上回る結果となりました。

### 連結業績ハイライト

売上高	884 億円	前年同期比 22.6% ↓
営業利益	30 億円	前年同期比 63.0% ↓
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	30 億円	前年同期比 52.4% ↓
1株当たり 配当金	30 円	前年同期比 50.0% ↓

## 2020年度の連結業績予想について

当社は、7月31日に通期連結業績予想を公表いたしました。上半期の実績や第3四半期以降の当社グループを取り巻く事業環境等を考慮して、業績予想を以下のとおり修正いたしました。

### 2020年度 通期連結業績予想(2020年10月30日修正公表)

売上高	1,890億円(従来は1,905億円)
営業利益	80億円(同 66億円)
経常利益	91億円(同 74億円)
親会社株主に帰属する当期純利益	67億円(同 53億円)

### 2020年度 配当予想(2020年7月31日公表値より変更なし)

年間 60円/株(中間 30円、期末 30円)、連結配当性向 33.1%
--------------------------------------

新型コロナウイルスの感染拡大は依然として収まっておらず、予断を許さない状況が続いておりますが、当社グループ一丸となり業績予想の達成に努めてまいります。また、「動かす」分野におけるイノベーションで、自らの成長と社会への貢献の両立を目指してまいりますので、株主の皆様には、より一層のご支援とご鞭撻を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

代表取締役会長  
兼CEO  
長 勇

代表取締役社長  
兼COO  
大原 靖



## 長岡京工場プロフィール

所在地 | 京都府長岡京市  
神足暮角1-1  
 操業開始 | 1971年1月  
 敷地面積 | 62,000㎡  
 従業員数 | 約410名

## 岡山工場プロフィール

所在地 | 岡山県津山市  
新野東1515  
 操業開始 | 1992年12月  
 敷地面積 | 55,000㎡  
 従業員数 | 約150名

DCブラシレスモータ付ハイポイドモートル  
 (製造工程の無人化・省人化を推進)

01

### 部品の加工



減速機のケース(ボディ)加工を行います。

02

### 組立 (モータ減速部)



モータ減速部の組立を行います。自動組立機導入により省人化を実現しました。

03

### 組立 (最終工程)



品質確保と省人化を目指し、組立の最終工程もロボットによる自動化を展開しています。



## 生産性向上を目指した「AMC30」活動への取り組み

現在、当社モーションコントロール事業部では「AMC30」(Activity of Motion Control)と称して生産性30%向上を目指した活動を展開しています。2016年の3工場から2工場体制への変化をきっかけに工場別(商品群別)縦割り体制より機能別最適地生産の視点で、複合加工機への入れ替え、自動化の追求やIoT技術の導入で直接、間接を問わず全スタッフ参加で生産性改善に取り組んでいます。特に自動化が遅れていた組立工程にも力を入れて、作業効率の改善はもとより人が介さないことでデータ改ざん防止も含めた全自動記録取込も進めています。

モーションコントロール事業部長代行 長岡京工場長代行 前田 隆雄



## 長岡京・岡山の2つの工場を拠点に、多種多様なニーズに応える機械部品を製造

モーションコントロール事業部は国内に2つの工場を持ち、長岡京工場では「動かす」をコントロールする減速機・直線作動機を、岡山工場では「つなぐ」を進化させるカムクラッチ(一方向クラッチ)や軸接手・締結具を製造しています。更には豊富なラインアップを活かし、商品の複合化により各種リフトをはじめとする、モジュール商品もご提供しています。



減速機



作動機



カムクラッチ



モジュール商品

04

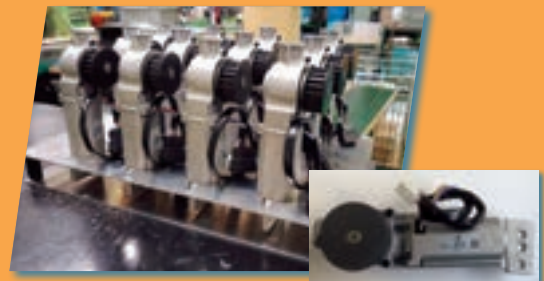
### 出荷検査



品質検査データは完全自動化を実現し、人を介さず社内システムにデータを取り込むことで、データ改ざん防止も図っています。

05

### 完成



DCブラシレスモータ付ハイポイドモートルが完成。この後、梱包を経てお客様の元へ出荷します。

## DCブラシレスモータ付ハイポイドモートルはこんなところに使われています



プラットフォームで列車との接触や転落を防ぐホームドアの駆動部に、DCブラシレスモータ付ハイポイドモートルが採用されています。不慮の事故を防ぎ、列車の正確で安全な運転に貢献するとともに、閉じている間は一定の力をかけ続けてロックし、人や荷物が挟まれた場合には瞬時に検知、即座に開放します。



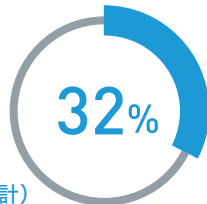


## チェーン事業

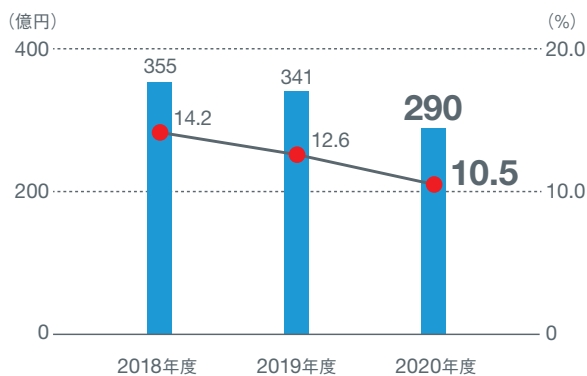
産業用スチールチェーンは  
世界シェアNo.1

モノ動くところに「チェーン」あり。国内外のあらゆる産業、用途に応じ、世界シェアNo.1の産業用スチールチェーンをはじめとした約2万種類の豊富なラインアップから最適なチェーンを最高の品質と最短の納期でお届けしています。

セグメント別売上高構成比\*1



売上高\*2/営業利益率(第2四半期累計)



【主要商品】

ドライブチェーン、コンベヤチェーン、スプロケット、ケーブル・ホース支持案内装置など

シェアは当社調べ

### 2020年度上半期の概況

日本、米州、欧州、環インド洋、中国、韓国・台湾の各地域で各種チェーンやケーブル・ホース支持案内装置などの販売が減少したことなどから、前年同期比で減収となりました。



上席執行役員 チェーン事業統括  
永井 康詞



## 精機事業

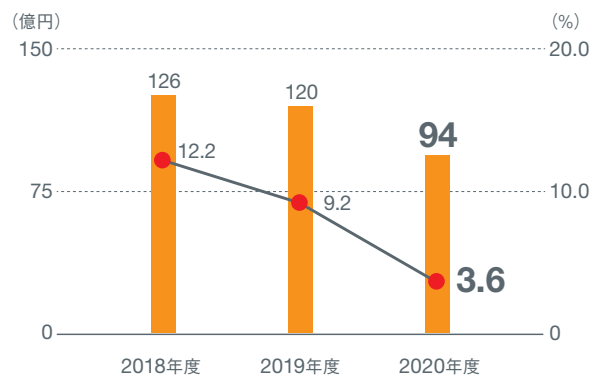
減速機、直線作動機などの  
豊富な商品群

「Motion & Control」の分野で、独自の複合化技術と豊富な品揃えを生かし、産業機械の複雑な動きを精密にコントロールする精機商品群。エレベータの昇降や立体駐車場、アーケードの屋根開閉、風力発電やスキーリフトなど、日常生活のさまざまなシーンでも活躍しています。

セグメント別売上高構成比\*1



売上高\*2/営業利益率(第2四半期累計)



【主要商品】

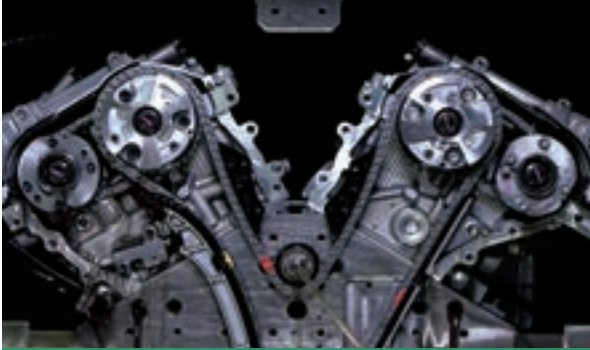
減速機・変速機、直線作動機、軸継手、締結具、クラッチなど

### 2020年度上半期の概況

日本、米州、欧州、中国、タイにおいて減速機、直線作動機やクラッチなどの販売が減少したことから、前年同期比で減収となりました。



専務執行役員 精機事業統括  
川口 博正

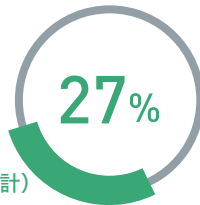


## 自動車部品事業

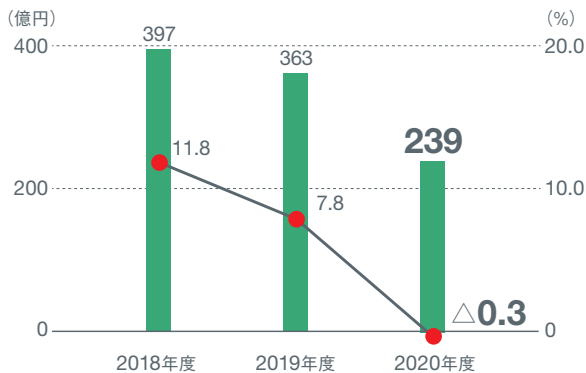
エンジンの高性能化を支える  
タイミングチェーンシステム

自動車エンジンの高性能化、エコ化に寄与するタイミングチェーンシステムで、国内68%、世界37%とトップシェア。日本、米国、英国、チェコ、タイ、中国、韓国、メキシコの各拠点から供給されるその品質と技術は、世界の自動車メーカーから高い信頼を獲得しています。

セグメント別売上高構成比\*1



売上高\*2/営業利益率(第2四半期累計)



【主要商品】

タイミングチェーン、テンショナ、ガイド、レバー、スプロケット、トランスファー用チェーンなど

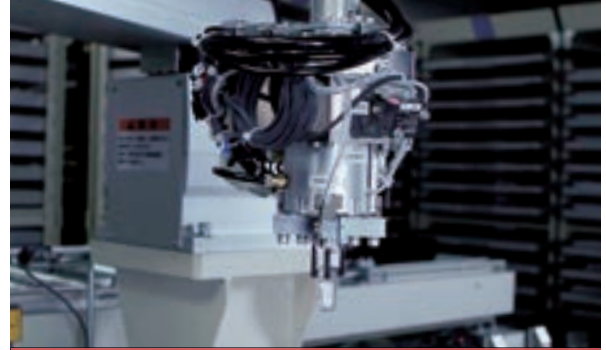
シェアは当社調べ

### 2020年度上半期の概況

日本、米国、英国、チェコ、タイ、中国、韓国、メキシコの全拠点においてエンジン用タイミングチェーンシステムなどの販売が減少したことから、前年同期比で減収となりました。



上席執行役員 自動車部品事業統括  
宮地 正樹

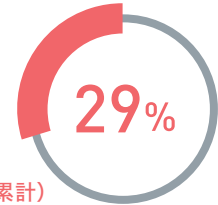


## マテハン事業

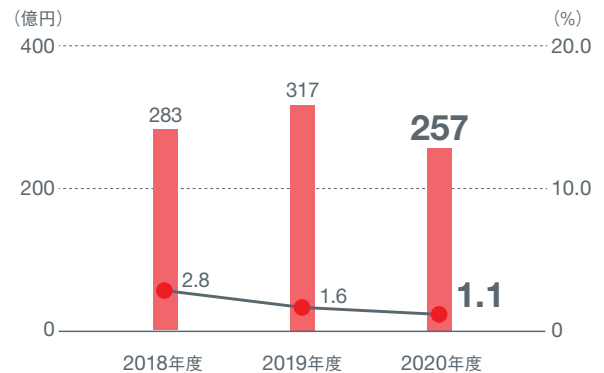
生産性向上に寄与する  
ソリューションを提供

物流業界向け自動仕分け装置、ライフサイエンス分野向け超低温自動保管庫のほか、自動車業界向けの車体搬送設備、セメントなどの粉粒体搬送コンベヤや工作機械向けの金属切り屑搬送・クーラント処理装置など、お客様の生産性向上に寄与する高度なソリューションを提供しています。

セグメント別売上高構成比\*1



売上高\*2/営業利益率(第2四半期累計)



【主要商品】

物流業界向けシステム、自動車業界向けシステム、ライフサイエンス分野向けシステム、粉粒体搬送コンベヤなど

### 2020年度上半期の概況

日本国内と米州において自動車業界向けシステムの売上が増加しましたが、日本国内における物流業界向けシステムや新聞印刷工場向けシステム、粉粒体搬送コンベヤの販売が減少したことなどから、前年同期比で減収となりました。



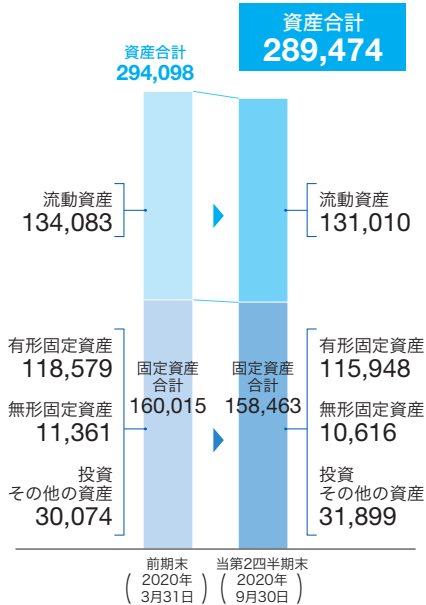
常務執行役員 マテハン事業統括  
木村 隆利

\*1 セグメント別売上高構成比は「外部顧客に対する売上高」を基準に算出しています。 \*2 売上高には「セグメント間の内部売上高又は振替高」を含みます。  
※すべての事業において、新型コロナウイルス感染拡大による影響を受けております。

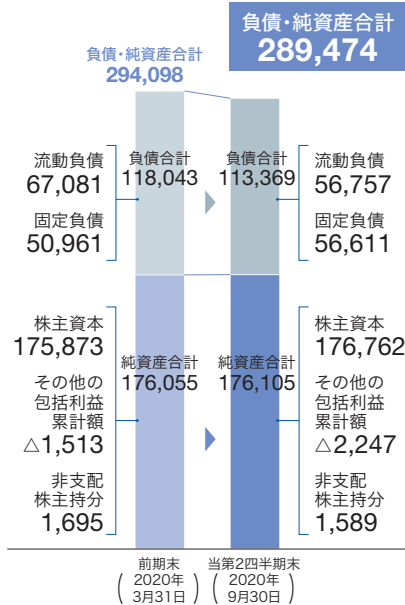
連結貸借対照表の概要

(百万円)

資産の部



負債及び純資産の部



さらに詳しい財務データは、  
当社ホームページの  
「IRライブラリ」をご覧ください。

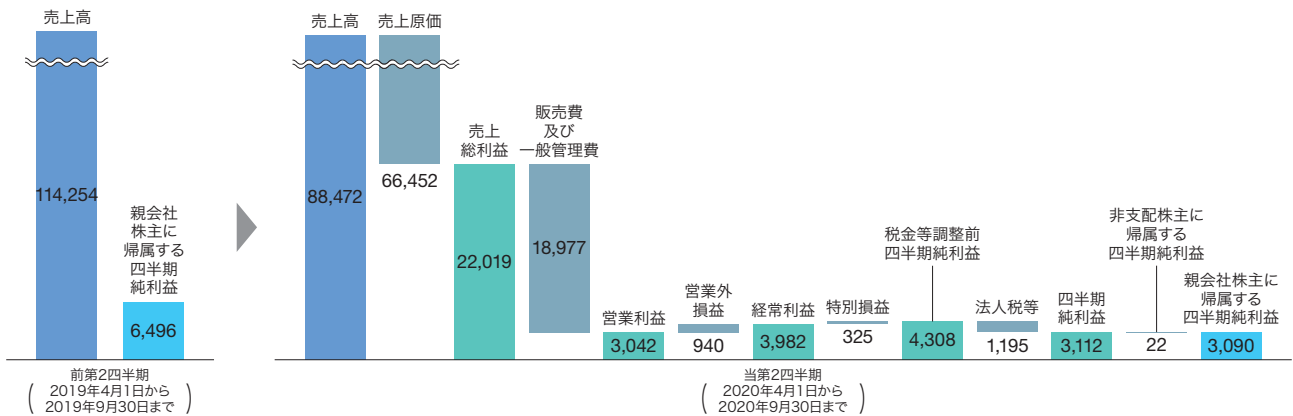
ツバキモト IR 検索

<https://www.tsubakimoto.jp/ir/library/>



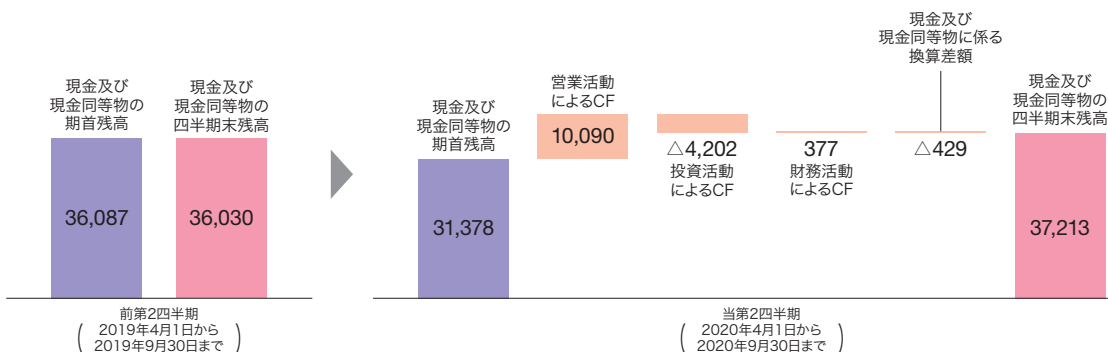
連結損益計算書の概要

(百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(百万円)





## つばきの社会貢献 ～新型コロナウイルス感染症に立ち向かう～

### 「知的財産に関する新型コロナウイルス感染症対策支援宣言」に発起人として参加

新型コロナウイルスの感染拡大防止を目的とする「知的財産に関する新型コロナウイルス感染症対策支援宣言」の趣旨に賛同し、発起人として本宣言に参画しています。

この感染症の蔓延をくい止めるためには、業界の垣根を越えた、治療薬、ワクチン、医療機器、感染防止製品等の開発および製造を、産官学が連携し、従来の常識や固定観念にとらわれないスピードで進める必要があります。

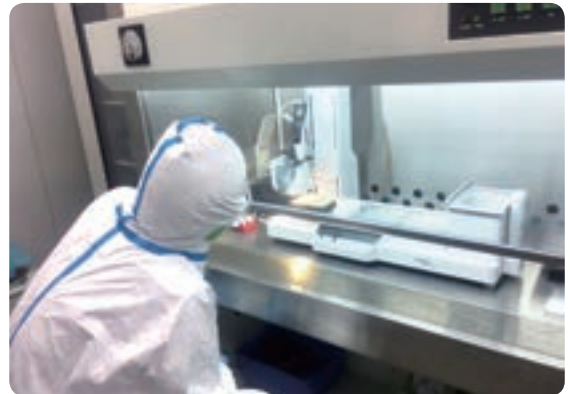
そのため、当社は本宣言に則り、新型コロナウイルス感染症の診断、予防、封じ込めおよび治療をはじめとする、新型コロナウイルス感染症のまん延終結を目的とした行為に対して、当社ライフサイエンス事業が保有する特許権・実用新案権・意匠権・著作権の権利を一定期間行使しないことを宣言、35件の特許を公開しています。



### 北里大学 大村智記念研究所に「自動分注システム」を寄付 2020年6月9日

新型コロナウイルス感染症の治療薬を早期に見出すための「COVID-19対策北里プロジェクト」に役立てていただくため、「自動分注システム」を北里大学の 大村智記念研究所に寄付しました。

今回寄付したシステムは、高濃度の新型コロナウイルスおよび薬剤や培地の分注（医療・理化学分野の実験において、ピペットなどで試料となる液体を一定の容量ずつ吐出すること）を自動化するものです。正確な実験操作を可能にし、感染性サンプル漏洩などによる事故、研究者の感染リスクを大幅に低減することに貢献します。



### つばきのサステナビリティ

#### SDGsを考慮した成長戦略による、サステナブルな社会の実現への貢献

2020年4月に制定した「サステナビリティ基本方針」の下、まず、CSR側面について、リスク管理・安全・環境など各委員会組織の中でマテリアリティ（重要課題）とKPI（監視指標）を設定し、活動を開始しました。現在、SDGsの視点を加味して、「2030年の社会」の仮説を立て、長期ビジョン「2030年つばきのありたい姿」を策定中です。

今後、SDGsを経営に統合するために、長期ビジョンの実行計画となる次期中期経営計画に反映させ、技術革新と社会課題の解決に取り組みます。

また、ステークホルダーの皆さまとのコミュニケーションを図り、モノづくり企業とし持続可能な社会の実現に貢献していきます。

